栂池～蓮華温泉トレッキング

■日程:2020 年 8 月 9 日～10 日
■メンバー:Y 科、A 原

お盆の休みは母の新盆で山は諦めていたが、実家からコロナだから帰ってくるな、とうれしい？要請。さて、ならばどこへ行こうかと考え、8/9-10 で白馬栂池から蓮華温泉まで歩くことにした。急ごしらえの計画だったが Y 科さんがエントリーしてくれた。
このあたり、白い時季には遊びのエリアでよく訪れるが、夏の時季はとんと馴染みが薄い。
ゴンドラやロープウェイで楽して標高を上げ、その後は基本的下りで最後は温泉に浸かる、というかなりゆる一い山行だ。まあ、たまにはよかろう。ってウソいつも。

8/8　今回の足はレンタカー。軽で 48 時間借りで 9,900 円也。
土曜の夕方、ヒガトコで Y 科さんをピックアップ。仮眠は大糸線の某駅でステビバ。快適に眠れた。

8/9(月)曇り。栂池高原スキー場に車を置きゴンドラに乗る。乗り場ではコロナ感染拡大防止のため連絡先などを記入。
ゴンドラもロープウェイもガラガラだったが、歩き始めると結構ひとが出てきた。冬の時季は「白い恋人」のような素敵な林だったが、今の時季は平凡な登山道だった。
天狗原は立派な木道が敷かれ、天気が良ければ小蓮華や白馬が見えるのだろうが見えるのはハクノリだけ。
ハクノリはゴツゴツのゴロ石歩きや傍らにはお花畑が広がったりで、夏はこんな顔してるのね、って意外な景色だった。
山頂台地の前に雪渓が 30mほどあり久しぶりの雪対面でうれしくて、スプーンカットを駆け上がりたい気持ちだった。
平らな台地を行けばケルンのある山頂に到着。山頂からゴツゴツ岩場を降りれば白馬大池に到着。小蓮華はガスでほとんど見えずだった。白馬大池の水面は風で波立っていた。
小蓮華の登山道は素敵な小径で私のお気に入りなのだが、小蓮華まで往復 3 時間かかり、「ゆる一い山行」という大義名分に反するので登らない。
ならば雷鳥坂を登り、雷鳥を見ようかと思ったが、栂池の登山口で案内のおぢさんからそこまで行かなくとも雷鳥なんかたくさんいるよ、の言葉を信じ、雷鳥坂もパスすることにした。どこまでゆる一いんじゃ？（この後、結局雷鳥くんとは出会えず）
蓮華温泉に歩を進めるのみ！賑わっていた大池から一変。蓮華温泉への道は、樹林帯の緩い下りのトラバース道で展望は得られず、ひともいない。Y 科さんの足が攣って芍薬甘草湯を一包服薬する。天狗ノ庭では、展望が開け眼前に雪倉岳が大きく見えた。山スキーでは楽しい滑降ができたことを思う。

黒い雨雲が迫ってきて、こりゃ来るね、言ったそばからポツポツときたが樹林帯だったのであまり影響はなし。
Y 科さんのもう片方の足が攣って、また一方服薬。足 1 本につき一包？
白い山肌が見えて噴煙も見えた。よく見ると裸体のような粒も見えた。森のなかに蓮華小屋の赤い屋根も見えた。ふろふろビール、と念仏を唱えながら歩いた。
やがて「黄金湯」の看板が出てきて、蓮華温泉の露天風呂エリアに入ったようだ。そこからわずかで蓮華温泉小屋に到着。グータッチ!

マスク装着し手指消毒し受付。ここでも連絡先記入。テント代ひとり 500 円。内湯+外湯 800 円。ビール 300 円を支払う。風呂は内湯も外湯も 18 時までとのことで慌ただしい。
テント場は小屋から 600mも離れていた。だだっ広くて炊事場が 2 ヶ所、トイレもあり快適そう。
テーブルで外宴会。雪倉岳はフレディマーキュリーのような雪形があった。朝日岳の緑が深い。あそこのスキーも楽しかったっけ。夜はプラネタリウム並みの星空が広がった。遅くまで呑んだ。

8/10（月） 朝。昨日以上のいい天気。今日のフレディもいかしているゼ。
小屋から 10 分歩き、薬師湯に入りに行く。湯船からの緑の稜線と青い空が気持ちいい。
さて、蓮華温泉からはバス（ここも連絡先記入）で 1 時間かけ平岩駅に出て、電車で南小谷駅に行き、バスで栂池高原スキーへ帰還した。
「ゆるーい山行」を無事終え、高速の人となった。
Y 科さん、お世話になりました。また、遊んでやってください。